



深い歌舞伎新聞

福島県福島市立渡利中学校

伊藤聖菜

そもそも歌舞伎とは？

「かぶき」とは「かたむく」の古語です。私が

できるまで

は歌舞伎というのは人から人に伝えられていくもので、歌舞伎の考え方がかたむいていくつまり、かぶきはお客様にどう感じてほしいかはっきり決まってるわけではなく、いろんな感じ方ができ、観ている方の心を動かす力があるものと考えます。歌舞伎の伝え方は明治時代までは親から子、師匠から弟子と個人か個人へ伝えていました。西洋からの文化と日本の文化になりました。西洋からの文化と日本の文化が交ざり合った多様性のある文化になってしまった、日本の文化を残していくこうという強い気持ちから、国立劇場というものができました。そこでは研修生の養成もやっています。文化を伝えていくと「う大切な場所です。今回はその稽古を見させていたしました。

おさつなげる！

中村時彦師

歌舞伎の文化をつなげろため、役者さん自ら舞台の合間をぬって研修生に稽古をしています。研修期間は二年間

で基本となるものを教えて

で口の歌舞伎役者

になるためのスタート

をつくります。内容は

40回近くもの舞台をく

り返し本物の役者さん

になっていきます。見

て、まねて、繰り返す

を行っていきます。私

がや、てーるダンスで

も先生の動きを見て、

まねてひるので歌舞伎

と似ていると思いま

た。

☆研究者を育てる
ほめて成長させるの
としかして成長させるの
はケースバイケース
でど、ちがえか考える
なことは、歌舞伎は数学
ではないから人生経験
で感性を出させるのが
むずかしい。

歌舞伎の日本を覚え
ることもは一日中ぶつぶ
つ言ったり、反復練習
して覚えている。先生

のおっしゃる通りのイ
ントネーションで覚え
る。

先生と生徒は天と地
ほどちがうので先生の
意見が正しい。でも、
言われたことをやつて
いるだけではなく、先生
の考え方でいろんなこ
とを吸収する。

☆歌舞伎の声を真似
氣づいたこと

・口がへの字になる

・のどがひらく

研修生

☆歌舞伎への思い

おこられるときはあ
りがたいと田心、てい
ぐ。受け入れて次に生

る。受け入れて次に生
かす。
良かつたと思うことは、
お客さんに喜んでもら
ったときである。特に
終わった後のはくしゃ
がうれしい。

編集後記

私は歌舞伎にふれる
機会が少なく、テレビ
でしか見たことがなか
ったのですが、歌舞伎
にふれて世界が広がっ
た感じがしました。深
い思いがこもっている
んだと思い、もとと調